Y613-09904-00 Rev.A

corega CG-WLUSB2GL

# らくらく導入ガイド

〈お願い〉

・本書は本商品の取り扱い方法を説明しています。本書を含めた取扱説明書をよくお読みの上、　正しい設置・操作を行ってください。また、お読みになった後も大切に保管してください。
・設定に使用するパソコンがWindows XP／2000の場合は、必ず「コンピュータの管理者」または「Administrator」権限のユーザ名でログオンしてください。
・本書に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

## 付属品一覧

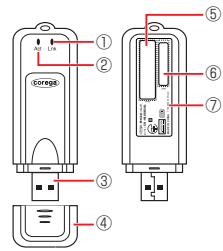
本商品をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

□CG-WLUSB2GL　本体
□USB 延長ケーブル
□Q&A
□電波干渉注意ラベル
□製品保証書（1 年）
□ユーティリティディスク（CD-ROM）
□らくらく導入ガイド（本書）
□安全にお使いいただくためにお読みください
□出張サポート案内

## 各部の名称

**①Lnk LED（緑）**
点灯：アクセスポイントと接続している状態です。
消灯：通信ができていない状態です。

**②Act LED（緑）**
点滅：通信中です。
消灯：通信していない状態です。

**③USB プラグ**
パソコンのUSBポートに接続します。

USB プラグの周辺は温度が高くなります。使用中および使用直後は触らないでください。

**④キャップ**
本商品を使用しない時に装着し、USBプラグを保護します。

**⑤シリアル番号ラベル**
本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、弊社サポートセンタへの問い合わせの際に必要になります。

**⑥MAC アドレスラベル**
本商品のMACアドレスが記載されております。

**⑦製品ラベル**
本商品の製品名が記載されております。

背面にある2.4DS/OF4ラベルは、この無線機器が2.4GHz帯を使用し、変調方式としてDS-SSとOFDM変調方式を採用、想定される干渉距離は40mであることを表します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

## 接続の前に

本商品を接続するには、次のものが必要です。

### ■対応するパソコン
・USB ポートを搭載している PC/AT 互換機（DOS/V）

### ■対応するOS
・Windows XP／2000／Me／98SE

・本商品をパソコンに挿し込む前に、必ず付属のユーティリティディスクからソフトウェアをインストールしてご使用ください。
・Windows 98SEをお使いの場合は、あらかじめ Windows 98SE のインストールCD-ROM内にある、「Win98」フォルダをCドライブにコピーしてください。また、コピーするには、ハードディスクに約650MBの空き容量が必要となります。
・インストール中に「CG-WLUSB2GL を挿し込んでください。」という画面が表示されるまで、本商品をパソコンに挿し込まないでください。

## STEP 1 本商品を接続する

現在使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

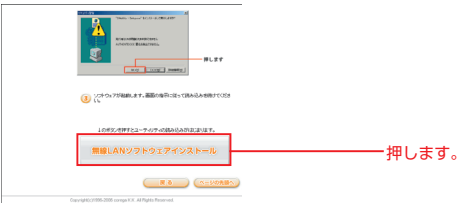
1 ユーティリティディスクをパソコンのCD-ROM ドライブに入れます。

・次のような警告の画面が表示された場合は、[はい] を押します（弊社にて動作を確認しております）。

押します。

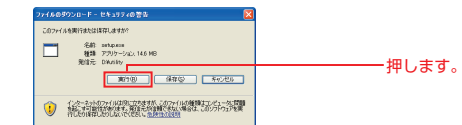
・「今後、このメッセージを表示しない」のチェックを外すと、Internet Explorer のアクティブ コンテンツが起動するたびに表示されます。

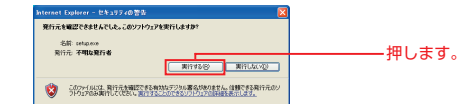
2 自動的に次の画面が表示されます（しばらく待っても表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください）。

3 手順 2 の画面で［無線 LAN ソフトウェアインストール］を押すと、次の画面が表示されますので、インストールのご注意をお読みになってから、再度［無線LANソフトウェアインストール］を押します。

押します。

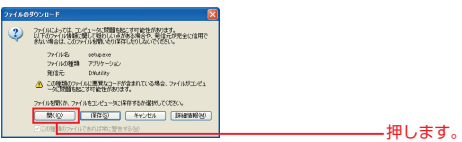
4 お使いの環境により手順が異なりますので、次の手順でインストール作業を進めてください。

●Windows XP Service Pack2 の場合

① 次のような警告の画面が表示されますので、[実行] を押します（弊社にて動作を確認しております）。

押します。

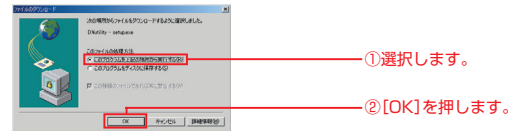
② ［実行する］を押します（弊社にて動作を確認しております）。

押します。

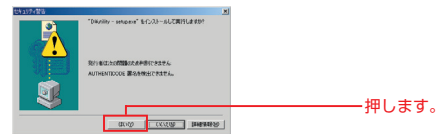
●Windows XP Service Pack1 の場合

次のような警告の画面が表示されますので、[開く] を押します（弊社にて動作を確認しております）。

押します。

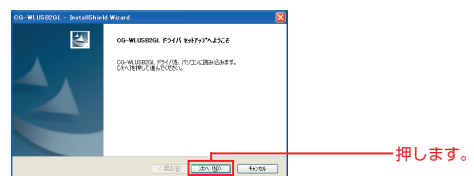
●Windows 2000／Me／98SE の場合

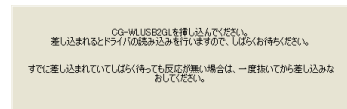
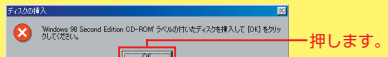
① このプログラムを上記の場所から実行する」を選択して、[OK] を押します。

①選択します。
②［OK］を押します。

Internet Explorer 6.0 をお使いの場合は、警告の画面が表示されますので［開く］を押します（弊社にて動作を確認しております）。

② セキュリティ警告が出ますが、[はい] を押します（弊社にて動作を確認しております）。

押します。

上記の画面はお使いの環境によって表示されない場合もあります。

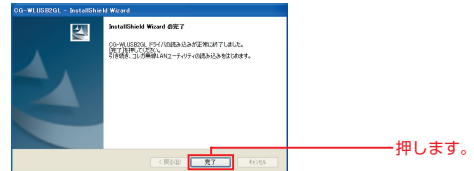
5 「InstallShield Wizard」の画面が表示されますので、[次へ] を押します。

押します。

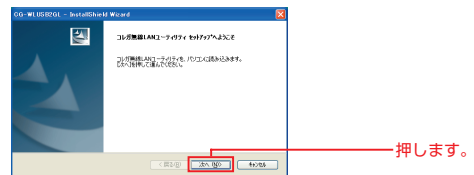
6 インストール中に次の画面が表示されますので、本商品をパソコンに取り付けます。

・本商品の取り付けは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧の上取り付けてください。
・Windows 98SEをお使いの場合、次のようなメッセージが表示される場合があります。表示された場合は、次の手順を行ってください。

① ［OK］を押します。

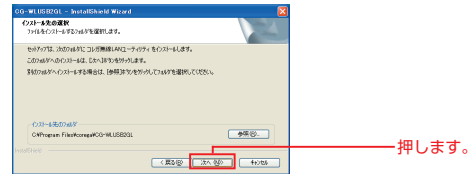
押します。

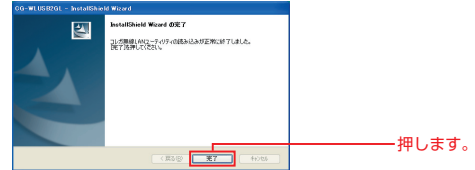
② 「ファイルのコピー元」の入力欄に、「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」または「C:¥WIN98」と入力し、［OK］を押します。

「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」または「C:¥WIN98」と入力し、[OK] を押します。

7 ドライバのインストールが再開し、「InstallShield ウィザードの完了」の画面が表示されますので、［完了］を押します。

押します。

8 「コレガ無線LANユーティリティセットアップへようこそ」の画面が表示されますので、［次へ］を押します。

押します。

9 「インストール先の選択」の画面が表示されますので、[次へ] を押します。

押します。

10 「InstallShield ウィザードの完了」の画面が表示されますので、[完了] を押します。

押します。

以上でインストール作業は終了です。

Windows XP ／ 2000 をお使いの場合、［完了］を押すと JUMPSTART のダイアログボックスが表示されますので、使用する場合は［はい］を押し、使用しない場合は［いいえ］を押します。［はい］を選択した場合は裏面の「STEP2b JUMPSTART を設定する」を、［いいえ］を選択した場合は「STEP2a 無線ユーティリティで接続する」をご覧いただき、本商品の設定をしてください。

JUMPSTARTを使用する場合は[はい]を押します。

インストールが完了したら、次の図をご覧いただき、お使いの環境にあわせて本商品の設定を行ってください。

**質問①　お使いのOS（Windows）は?**

| Windows XP／2000をお使いの場合 | Windows Me／98SEをお使いの場合 |
|---|---|
| 質問②へ | STEP 2aへ |

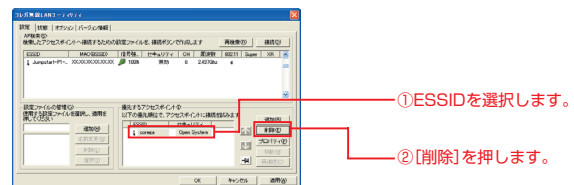
**質問②　通信する相手の機器はJUMPSTARTに対応している?**

| 対応していない場合 | 対応している場合 |
|---|---|
| STEP 2aへ | 裏面のSTEP 2b、2へ |

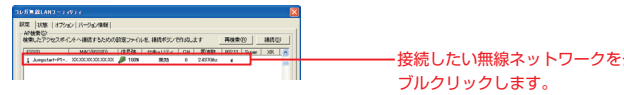
## STEP 2a 無線ユーティリティで接続する

1 画面右下のタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックし、ユーティリティ画面を開きます。

2 「優先するアクセスポイント」欄に「corega」のESSID が表示されている場合は、そのESSID を選択し、［削除］を押します。

①ESSIDを選択します。
②[削除]を押します。

接続したい無線ネットワークのESSIDが「corega」の場合は、削除する必要はありません。

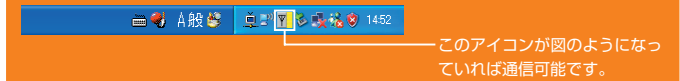
3 「AP 検索」に表示されている、接続したい無線ネットワークをダブルクリックします。

接続したい無線ネットワークをダブルクリックします。

・セキュリティの欄にアイコンが表示されている場合は、WEP、WPA、WPA2 のいずれかの無線セキュリティが設定されています。無線セキュリティの種類を確認してください。
・アクセスポイントが一覧に表示されない場合、［再検索］を押してください。それでも表示されない場合は、付属の「Q&A」をご覧いただき接続に問題ないかご確認ください。

4 「プロパティ」画面が表示されますので、「ESSID（無線ネットワーク名）」が接続した無線ネットワークのESSIDであることを確認し、［OK］を押してください。

5 手順 2 の画面に戻ったら、画面右下にある［適用］を押し、設定を反映させます。

**手順 2 の画面の「優先するアクセスポイント」のアイコンがになっていれば、接続完了です。また、設定が終了したら、お使いのパソコンの画面右下にあるタスクトレイのアイコンが、図のようになっていれば通信可能です。**

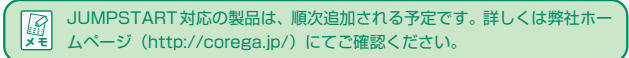
このアイコンが図のようになっていれば通信可能です。

**これで本商品をお使いいただけます**

・WEP、WPA、WPA2のいずれかが設定されていた場合は、ユーティリティディスク収録の「詳細設定ガイド」をご覧いただき、本商品に同じ設定を行ってください。
・Windows Me／98SEをお使いで、ネットワークにJUMPSTARTが設定されていた場合は、無線ルータまたは無線アクセスポイントのJUMPSTARTを無効にした後で、新たにセキュリティの設定をする必要があります。JUMPSTARTを無効にする手順は、無線ルータまたは無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

## STEP 2b JUMPSTARTを設定する

JUMPSTARTとは、米国Atheros Communications, Inc.が開発・提供する、無線LANセキュリティ設定技術です。JUMPSTART対応の無線ルータや無線アクセスポイントと併用することで、ユーザはより簡単に高セキュリティに守られた環境で通信することが可能となります。

**●JUMPSTARTに必要なもの**

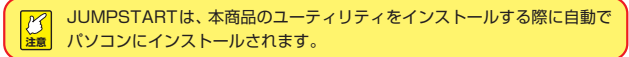
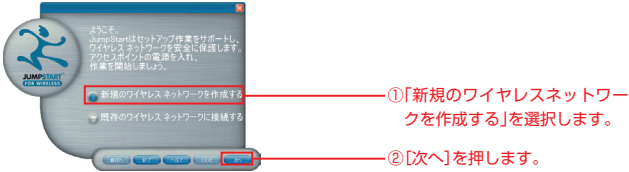
・JUMPSTART対応の無線ルータまたは無線アクセスポイント（親機）
・JUMPSTART対応の無線LANアダプタ（子機）
・JUMPSTART対応のOS（Windows XP／2000）

JUMPSTART対応の製品は、順次追加される予定です。詳しくは弊社ホームページ（http://corega.jp/）にてご確認ください。

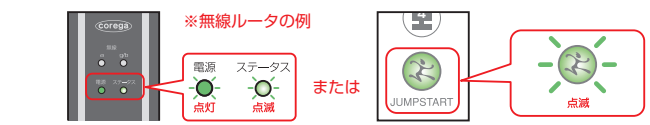
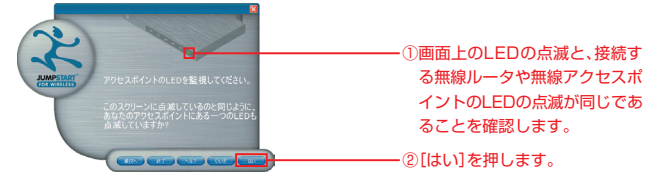
### ■設定の手順

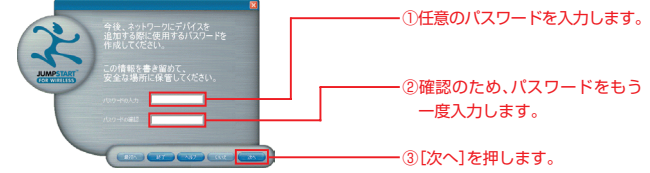
**●新規に設定する場合**

はじめてJUMPSTARTを使用する場合、次の手順を行ってください。

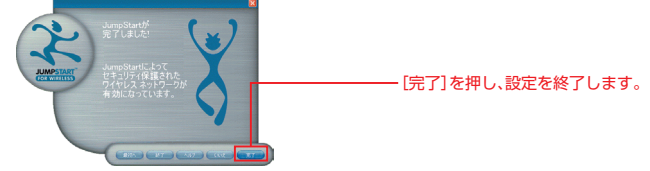
1 「スタート」－「すべてのプログラム」－「JUMPSTART」（Windows 2000の場合は「スタート」－「プログラム」－「JUMPSTART」）の順に選択します。

JUMPSTARTは、本商品のユーティリティをインストールする際に自動でパソコンにインストールされます。

2 次の画面が表示されますので、「新規のワイヤレスネットワークを作成する」を選択し、[次へ]を押します。

3 接続可能な無線ルータや無線アクセスポイントの検索がはじまりますので、検索が完了するまでしばらくお待ちください。

4 検索が終了したら、接続する無線ルータや無線アクセスポイントのLEDの点滅パターンが、次の図で示されているLEDの点滅パターンと一致することを確認し、[はい]を押します。LEDの点滅パターンは、ステータスLED（製品によって名称が異なる場合があります）が短く点滅した後、1回長く点灯します。

必ず、接続する無線ルータや無線アクセスポイントのステータスLED（製品によって名称が異なる場合があります）がパターン通りに点滅しているかご確認ください。対象となる無線ルータや無線アクセスポイントのLEDが点滅していない場合は、本書に記載されている「JUMPSTARTに関するQ&A」をご覧いただき、接続や設定をご確認ください。

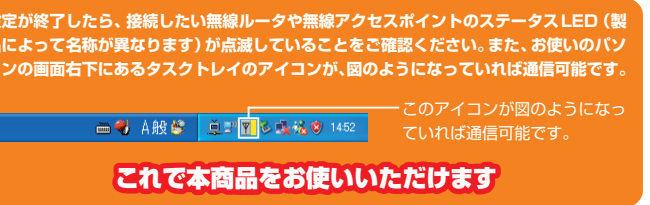
5 「パスワードの入力」欄にJUMPSTARTで使用する任意のパスワードを入力し、確認のために「パスワードの確認」欄にもう一度パスワードを入力して、[次へ]を押します。

パスワードは、半角英数字および半角記号を使って設定してください。また、文字数は6文字以上使用して設定することをおすすめいたします。

6 ネットワークの設定がはじまりますので、作業が完了するまでしばらく待ちます（作業時間はお使いの環境によって異なります）。

7 「JumpStartが完了しました！」の画面が表示されたら設定は終了です。[完了]を押してJUMPSTARTを終了してください。

8 手順 7 で[完了]を押すと、無線ルータや無線アクセスポイントが再起動し、再起動後に通信可能となります。

**設定が終了したら、接続したい無線ルータや無線アクセスポイントのステータスLED（製品によって名称が異なります）が点滅していることをご確認ください。また、お使いのパソコンの画面右下にあるタスクトレイのアイコンが、図のようになっていれば通信可能です。**

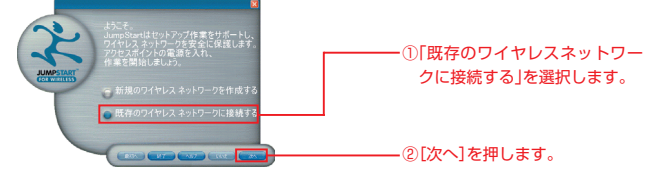
このアイコンが図のようになっていれば通信可能です。

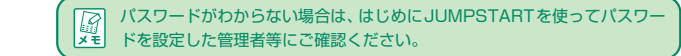
**これで本商品をお使いいただけます**

**●追加で設定する場合**

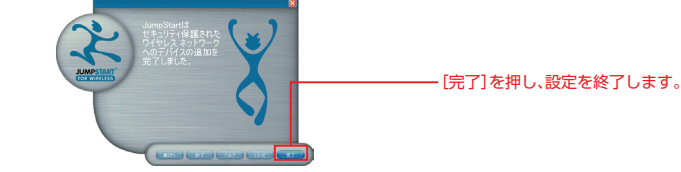
JUMPSTARTを使用してすでに設定されている無線ルータや無線アクセスポイントに接続するには、次の手順を行ってください。

JUMPSTARTを使用して設定を追加する場合、接続したい無線ルータや無線アクセスポイントのステータスLED（製品によって名称が異なる場合があります）が点滅していることをご確認ください。

1 「スタート」－「すべてのプログラム」－「JUMPSTART」（Windows 2000の場合は「スタート」－「プログラム」－「JUMPSTART」）の順に選択します。

2 次の画面が表示されますので、「既存のワイヤレスネットワークに接続する」を選択し、[次へ]を押します。

3 「新規に設定する場合」の手順 5 で設定したパスワードを入力します。

パスワードがわからない場合は、はじめにJUMPSTARTを使ってパスワードを設定した管理者等にご確認ください。

4 ネットワークの設定がはじまりますので、作業が完了するまでしばらく待ちます。

5 次の画面が表示されたら設定は終了です。[完了]を押してJUMPSTARTを終了してください。

以上でJUMPSTARTで暗号化されたネットワークに接続することができました。

### ■JUMPSTARTに関するQ&A

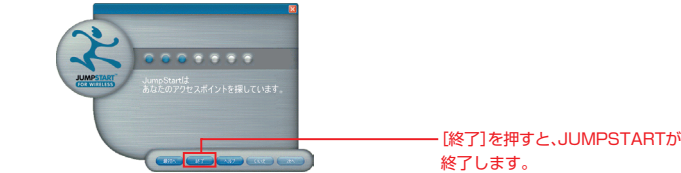
**❶トラブルかな？　と思う前に**

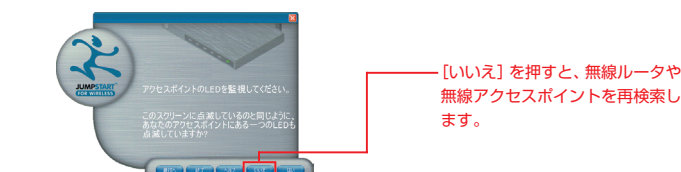
「トラブルかな？」・「故障かな？」と思ったら、はじめに次の項目をご確認ください。

・**接続する無線ルータや無線アクセスポイントはJUMPSTARTに対応していますか？**
→ お使いの無線ルータや無線アクセスポイントがJUMPSTARTに対応しているかご確認ください。

・**無線ルータや無線アクセスポイントのJUMPSTART機能は「有効」になっていますか？**
→ 無線ルータや無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただき、JUMPSTARTが「有効」になっているかご確認ください。

**❷接続したい無線ルータや無線アクセスポイントの検索が終わらない**

❶の項目をご確認いただき、それでも問題がない場合は、JUMPSTART画面の［終了］を押し、はじめから設定をやり直してください。

**❸接続したい無線ルータや無線アクセスポイントのLEDが点滅しない**

LEDの点滅パターンが一致しない場合は、JUMPSTART画面の［いいえ］を押し、再度検索してください。また、2台以上の無線ルータや無線アクセスポイントをお使いの場合は、接続したい無線ルータや無線アクセスポイント以外の親機の電源をオフにして設定してください。

**❹JUMPSTARTのパスワードを忘れてしまった**

パスワードを忘れてしまった場合は、無線ルータや無線アクセスポイントを工場出荷時の状態に戻し、もう一度はじめからJUMPSTARTを使って設定し直してください。無線ルータや無線アクセスポイントを工場出荷時の状態に戻す方法は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

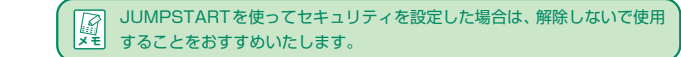
無線ルータや無線アクセスポイントを工場出荷時の状態にした場合、設定内容が消えてしまう場合がありますので、事前に設定内容をメモしておいてください。

**❺JUMPSTARTが途中で止まってしまう**

JUMPSTARTが途中で止まってしまった場合は、画面内の［終了］を押し、はじめから設定をやり直してください。

**❻JUMPSTARTを解除するには**

JUMPSTARTを解除するには、無線ルータや無線アクセスポイント（親機）のJUMPSTART機能を「無効」に設定してください（設定方法は無線ルータや無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください）。無線LANアダプタ（子機）側は、特に設定する必要はありません。

JUMPSTARTを使ってセキュリティを設定した場合は、解除しないで使用することをおすすめいたします。

その他の疑問や質問は、付属の「Q&A」にも記載されておりますので、あわせてご覧ください。

### ■製品仕様

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| サポート規格 | 無線LAN | （国際規格）IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11<br>（国内規格）ARIB STD-T66 |
| | PCインタフェース | USB 2.0/1.1準拠 |
| 取得承認 | | VCCI クラスB、技術基準適合証明 |
| 対応PC | | USB 2.0もしくは1.1標準搭載のDOS/Vパソコン |
| 対応OS | | Windows XP/2000/Me/98SE |
| 無線LAN仕様 | 周波数帯域 | [IEEE802.11g/b] 2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示） |
| | チャンネル数 | [IEEE802.11g/b] 13ch（1～13ch） |
| | 伝送速度 | [IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps<br>[IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps |
| | 伝送方式 | OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式） |
| | 通信モード | Infrastructure/Ad-Hoc |
| | アンテナ形式（タイプ） | プリントアンテナ（ダイバシティ方式） |
| | セキュリティ | ESSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、WEP（64/128bit）、WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、WPA-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1x認証）、WPA2-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1x認証）、TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む） |
| 電源部 | 供給方法 | USBインタフェースから供給（バスパワー） |
| | 定格入力電圧 | DC5V |
| | 最大消費電力 | 2.2W |
| 環境条件 | 動作時 | 温度：0～40℃／湿度：90%以下（結露なきこと） |
| | 保管時 | 温度：−20～60℃／湿度：95%以下（結露なきこと） |
| 外形寸法 | | 29（W）×13（D）×82（H）mm 本体のみ（キャップ含まず） |
| 質量 | | 16g 本体のみ（キャップ含まず） |

### ■工場出荷時の設定

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 通信モード | Auto |
| ESSID | corega |
| チャンネル | Auto |
| 暗号化 | 無効 |
| Txバースト | 無効 |

※「Txバースト」については弊社ホームページ（http://corega.jp/）よりCG-WLUSB2GLの製品情報ページをご覧ください。また、設定方法についてはユーティリティディスク収録「詳細設定ガイド」の「PART3 ユーティリティの画面について」「『オプション』画面」（P.30）をご覧ください。

### ■おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・画面は開発中のものにつき、予告なく仕様を変更することがありますがご了承ください。
・Windows XP SP1は、Microsoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版Service Pack 1または、Microsoft Windows XP Professional operating system 日本語版Service Pack 1のいずれかを指します。
・Windows XP SP2は、Microsoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版Service Pack 2または、Microsoft Windows XP Professional operating system 日本語版Service Pack 2のいずれかを指します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。




2006年7月　初版


本書は再生紙を使用しています。